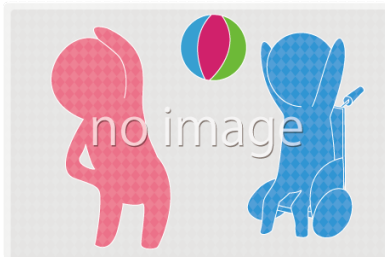


勘定ゲーム

おはじきを使った推理レクです。
相手の出す個数に合わせて勝敗が変わるので
出す数を見極めるための推理が必要なレクです。
ただ相手の出すおはじきの数を当てるだけではありません。



ジャンル 認知症予防 ゲーム

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度2 所要時間 20分

性別 人数 2人～

道具 (一人当たり予算0円)

おはじき(人数×3個)

注意点・追加ルール

期待効果 推理による脳トレ効果。

1 参加者におはじきを3つずつ配ります。
次にペアを組みます。
ペアの内、まずどちらか親を決めて親の先行で始めます。

2 まず、親でない方はおはじきをいくつか持ちます。
0～3個好きな個数持ってください。
持っていないおはじきは見えないように隠してください。

3 親は相手がいくつ持っているか質問をしてください。
親でない方は質問に「はい」か「いいえ」で答えます。
この時、本当のことを言ってもいいですし、嘘をついてもかまいません。
例) 2個持っていて、「3個持っていますか？」と聞かれた時に「はい」と答える

4 「はい」「いいえ」以外の言葉を発してはいけません。
心理戦なので、嘘か本当かを見破るようにしましょう。
親は相手のおはじきの数を予想して自分もおはじきを持ちます。
親の合図で互いに手の中のおはじきを公開します。

5 おはじきの数の合計が3～4個なら親の勝ち。
0～2、5以上ならば親でない方の勝ちです。
次は親を交代してプレイします。

6

応用編

親でない方のプレイヤーも

直前まで石の数を変更できるようにする。

質問は好きな質問をしてもいいし「親は石を3つ出す」と宣言してもいい。

実際は3つではなく、0個等、攪乱させるために宣言をする。

この場合、30秒立ったら同時に石を公開するなど、時間制限を設けた方がよい。